

(公財) 日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会
2019年度 第2回 患者安全推進地域フォーラム in 下関

日 時：2019年10月19日(土) 13:00~17:00

場 所：下関市立市民病院 2階講堂

幹事病院：地方独立行政法人 下関市立市民病院

テーマ：医療安全における倫理とは？

医療安全の実践とは「医療の質を保証する」ことで、医療の質とは「患者にとってベストな医療の提供」である。医療は連続的なもので、そこには多職種のチームワークが関わってくる。患者・家族・医療者の意思統一のもと、関係者がじっくりと方向性の実現を目指すことが重要である。しかし、現実の医療現場には多くの課題が山積し、特に倫理的問題についてルールを明確にすることは困難である。

このフォーラムでは、医療安全における倫理的問題について取り上げ、現場の実践例を共有し、私たちが倫理的問題に直面したときにどのように考え、判断・対応していけばよいのかヒントを共有したい。

開会挨拶 田中 雅夫(地方独立行政法人下関市立市民病院 院長) 13:00~13:05 (5分)

「認定病院患者安全推進協議会の活動紹介」 13:05~13:20 (15分)

矢野 真(認定病院患者安全推進協議会 運営委員会委員長)

《講演》

座長：前田 博敬(地方独立行政法人下関市立市民病院 副院長・医療安全対策室室長)

基調講演「倫理問題は会議室で起こってるんじゃない！」

—「安全・安心な医療」と「倫理的な医療」の関係— 13:20~14:35 (75分)

板井 孝孝郎(宮崎大学 医学部 教授/宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門 臨床倫理部 部長)

===休憩(10分)=== (14:35~14:45)

《シンポジウム》 医療安全と倫理 —倫理的問題とどう取り組むか—

座長：鮎澤 純子(九州大学病院 病院長補佐/九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授)

「緩和医療に求められる安全と倫理」 14:50~15:20 (30分)

牧野 一郎(地方独立行政法人 下関市立市民病院 緩和ケア内科部長)

「看護行為と倫理」 15:20~15:50 (30分)

神茂 睦美(医療法人社団宇部興産中央病院 医療安全推進室 副室長 GRM)

「医療安全と倫理面から見た診療記録のあるべき姿とは? —診療記録の質改善を目指して—

15:50~16:20 (30分)

嶋崎 明美(独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 教育研修室長)

討論 16:20~16:55 (35分)

閉会挨拶 橋本 迪生(日本医療機能評価機構 常務理事) 16:55~17:00 (5分)

(敬称略)